

2学年進路通信 Vol.5

関東第一高等学校
 学校長 乙幡和弘
 監修 進路指導部
 8月29日(木)発行

Vol.4では総合型選抜入試について記載しました。今号では公募制推薦入試と指定校推薦入試のいわゆる学校推薦型選抜入試について記載しています。すでにクラスルームに配信されている『明日へのガイドマップ2024』と合わせて読み進めてみてください。学校推薦型選抜入試においては学校長の推薦書が必要です。**推薦書発行の条件・基準は『明日へのガイドマップ2024』25pに記載**しているので、そちらの条件を満たしているかどうかを最初に確認する必要があります。

○学校推薦型選抜入試のスケジュール

■ 一般的な入試と合格発表の時期

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
私立大学一般選抜									入試	発表
大学入学共通テスト				出願				試験		
私立大学学校推薦型選抜						入試	発表			
私立大学総合型選抜 (IBAO)					入試				発表	

(SINRO!No.12より引用)

上記にあるように、学校推薦型選抜入試は11月上旬に出願、11月中下旬に入試、12月上旬に合格発表というのが一般的なスケジュールです。中には12月上旬に入試、12月中下旬に合格発表という大学もあります。大学入学共通テストの得点を合否判定に用いる国公立大学については、試験日が11月中旬～2月上旬と幅広く、合格発表が2月上旬～中旬頃となるため、国公立大学の一般選抜の受験も踏まえて受験勉強をし続ける必要があります。

○公募制推薦入試について

総合型選抜入試との大きな違いは学校からの推薦書があるかどうかです。まずは校内での推薦基準を満たさないと出願することができません。なお、校内での推薦基準をクリアしたとしても大学ごとにも出願基準があるので、各大学の入試要項に目を通して出願基準を確認しましょう。あとは総合型選抜入試と準備する事柄に大きな差はありません。

(カドカワストアより引用)

○総合型選抜入試と公募制推薦入試の併願をする場合には同時並行で準備を進めよう

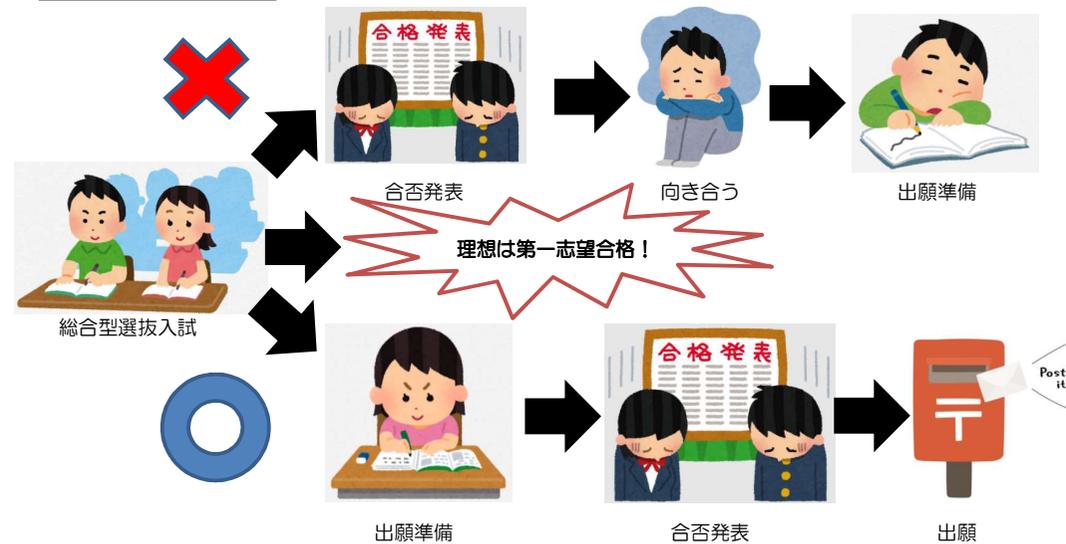
第一志望校が総合型選抜入試と公募制推薦入試を実施している場合、10月に総合型選抜入試に臨み、その結果次第で公募制推薦入試に出願するパターンがあります。

例	出願締切	入試日	合格発表日
東邦大学薬学部(総合型選抜入試)	10月4日	10月14日	11月1日
東邦大学薬学部(公募制推薦入試)	11月10日	11月19日	12月1日

総合型選抜入試に合格をしていたら、そこで入試は終了です。もしも総合型選抜入試で不合格だった場合には公募制推薦入試の出願をする必要があります。合格発表を見てから準備を進めると、準備期間はわずか9日間です。不合格の現実を見た後に、精神的に不安定なまま急ピッチで準備を進めるのは、受験生にとって相当苛酷な状況です。さらに周囲のクラスメイトには合格をしている子も多くいるため、「なんで自分だけ・・・」と思いつつ、周囲と自分の状況を比べて落ち込んでしまうこともあります。そのような心境の中で出願書類を作成するのはとても難儀なことです。

さらに大変なのが、**同じ大学を受験する場合、志望理由書等の書類の中身をどのように変えるのが難しくなります**。当然、最初に提出した書類をそのまま利用することはありません。そもそも一度完成した、とと思って書類を提出しているのに、どこをどう変えればいいのか非常に迷います。もしかしら書類は問題がなく、選考当日の試験の出来が良くなかったのかもしれませんが、その場合には志望理由書を書き換える必要はありませんが、結局不合格になった理由は、大学側にしかわからないので、疑心暗鬼のまま書類内容の変更を行わなければなりません。

このように総合型選抜入試よりも時期が遅い公募制推薦入試には、様々な悩みが生まれます。そこで受験生に勧めたいのは、**総合型選抜入試の試験後すぐに公募制推薦の出願準備に取り組む**ことです。試験後すぐに公募制推薦入試の出願準備に取り組めば、上記例では26日も準備期間があります。合否の結果もわかっていないので、精神的に余裕もあります。合格していれば公募制推薦入試の出願準備の必要はなかった、と思うかもしれませんが、ただし、それはあくまでも結果論です。**常に最悪の状況を考えてながら準備をすることで、いざというときにすぐに対応することができます**。まさに「備えあれば憂いなし」ですね。



○総合型選抜入試と公募制推薦入試の出願資格の違い

同じ大学・学科においても、総合型選抜入試・公募制推薦入試と入試の種類が異なると、出願基準も以下のように異なることがあります。総合型選抜入試は受験できて公募制推薦入試は受験できない、といったことも起こるので、**必ず入試要項に目を通して、それぞれの入試形態の出願資格を確認**しましょう。

・総合型選抜入試と公募制推薦入試の出願資格が異なる例 ※2024 年入試の情報

大学名	総合型選抜	公募制推薦
学習院大学国際社会科学科	英検準1級	全体 4.2、数ⅠⅡAB履修、英検2級
神田外語大学英米語学科	特になし(10月選考)	全体 3.8、英検2級、出席良好
昭和女子大学国際学科	特になし	英 3.6、国 3.5、英検スコア 1950
東京電機大学建築学科	数英 3.5、数ⅠⅡABC履修	数Ⅲ履修者
東京都市大学機械工学科	特になし(2段階選抜制)	全体 3.7、数理 3.8
日本大学商業学科	特になし	全体 3.8、英 4.0
日本女子大学史学科	日本史 or 世界史の履修	地歴 4.0

○公募制推薦入試の方が総合型選抜入試よりも合格しやすい？

学校長の推薦がある、ということは同じ大学を受けるにしても公募制推薦入試の方が受かりやすいのでは？と考え、総合型選抜入試をあえて見送って公募制推薦入試だけ受験しようとする受験生がいます。結論としては、**その年ごとの受験者数などにも左右されるので、どちらの入試が受かりやすい、という断言はできません**。どちらの入試形態であっても出願資格を満たしているようであれば、わざわざ受験回数を減らして合格可能性を自ら下げる必要はないので、合格する可能性を高めるために総合型選抜入試も公募制推薦入試も受験しましょう。

・総合型選抜入試と公募制推薦入試の入試倍率の例 ※2023 年入試結果の情報

大学名	総合型	公募制	大学名	総合型	公募制
大妻女子大学管理栄養士専攻	3.5	2.4	学習院大学国際社会科学科	4.1	3.2
北里大学理学療法学科	5.3	3.3	共立女子大学看護学科	2.5	2.3
昭和女子大学現代教養学科	2.0	1.9	千葉工業大学建築学科	3.6	4.3
東京工芸大学アニメーション学科	1.9	3.0	東京電機大学建築学科	2.5	5.3
東洋大学総合政策学科	1.4	1.5	日本大学美術学科	1.6	2.5

○専門学校の公募制推薦入試

3年生の夏休みまでじっくりと学校選びをする場合には、公募制推薦入試に臨みましょう。大学入試と同じく学校長の推薦と各専門学校の出願資格が必要です。スケジュール等は進路通信 Vor.4 に記載してある通りです。

【推薦の要件】

(1) 高等学校または高等専修学校における「全体の学習成績の状況」（認定平均値）が3.0以上で、学校長の推薦があること。
(中央工学校 HP より引用)

- ②高等学校1年次より3年次1学期までの学習成績概評が3.0以上で、欠席日数が15日以内の方
(2期制の高校は3年次前期までとする)
- ③2024年3月以降実施のオープンキャンパス・説明会(オンライン含む)・学校見学のいずれかに参加した方
- ④当校を単願で受験する方

(コーセー美容専門学校 HP より引用)

○指定校推薦入試について

学校長推薦と各大学が求める指定校推薦の基準を満たし、学内推薦を得ることで出願できます。公募制推薦と大きく異なるのは合格の保証です。学内推薦を得て出願し、受験をすれば99%合格します。**ごく稀に不合格や再試験となることもあるので、合格発表があるまでは油断せず学習に励みましょう**。指定校推薦入試は専願のみなので、併願制の入試を受けることは可能ですが、**指定校推薦入試以外の専願制の入試は絶対に受験しないでください**。スケジュールによっては総合型選抜入試において専願制の大学に出願することもあります。出願後に**指定校推薦の学内推薦を取得した場合は、総合型選抜入試の受験を辞退する旨を大学に連絡してください**。

本校で**指定校推薦入試の受験者を決定する時期は9月下旬**です。この時期は、**大学によっては総合型選抜入試の出願締切日を超過している可能性もあります**。そこで、指定校推薦入試を希望する生徒は、指定校推薦入試の学内推薦に漏れる可能性を踏まえて、総合型選抜入試の出願や、公募制推薦入試・一般選抜の準備をし続ける必要があります。

・総合型選抜入試において出願締切日が早い主な大学 ※2024 年入試の情報

大妻女子大学 9.6、神田外語大学 9.13、駒澤大学 9.15、実践女子大学 9.21、津田塾大学 9.20、玉川大学 9.13、中央大学 9.7~21、東京経済大学 9.13、東京工科大学 9.6、東京女子大学 9.8、東京電機大学 9.21、東京都市大学 9.19、東洋大学 9.14、日本大学 9.14~21、日本女子大学 9.15、日本体育大学 9.14~21、武蔵大学 9.13、立教大学 9.20、立正大学 9.11、早稲田大学 9.5~14...etc

上記のように出願締切日が早い総合型選抜入試の受験を検討している場合は、**総合型選抜入試の出願をした上で学内推薦の発表を待ちましょう**。たまに「総合型選抜入試の出願費用がかかるから、先に学内推薦の情報を教えて欲しい」という問い合わせがありますが、公平を期すため発表日前に情報を公表することはありません。

○2024 年7月現在における新規の指定校推薦情報 ※出願資格等は進路指導室のPCから閲覧してください。

大妻女子大学家政学部児童教育専攻、大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科、大妻女子大学文学部英語英文学科、大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科、大妻女子大学社会情報学部環境情報学専攻、大妻女子大学比較文化学部1名増、神田外語大学ブラジル・ポルトガル語専攻、神田外語大学グローバルリベラルアーツ学部、北里大学獣医学部グリーン環境創成科学科、工学院大学工学部1名増、実践女子大学生活科学部健康栄養専攻、実践女子大学生活科学部幼児保育専攻、芝浦工業大学デザイン工学部、昭和女子大学5名、成蹊大学理工学部、専修大学経済学部現代経済学科、専修大学経済学部生活環境経済学科、専修大学経済学部国際経済学科1名増、専修大学法学部政治学科、東京工芸大学芸術学部映像学科、東京農業大学地球環境科学部生産環境工学科、東邦大学薬学部、日本大学国際関係学部、日本大学生産工学部マネジメント工学科、日本大学生産工学部数理工学、北京外国語大学、明治学院大学、立正大学経営学部、

○専門学校の指定校推薦入試

専門学校の指定校推薦入試においては受験料の免除や学費減免といった特典がついていることがあります。希望している専門学校の指定校推薦書類が学校に届いている場合は、指定校推薦入試で受験するとよいでしょう。

入学検定料

免除

推薦入学選考（公募・指定校）入学金減免制度

出願区分	減免額
公募推薦	5万円
指定校推薦	10万円

(新宿医療専門学校 HP より引用)